



演壇

2018年は... 忠敬没後200年

記念行事も...

測量に果たした 地域の役割

伊能測量協力者 → 顕彰大会

「毎日新聞」2018年4月21日

伊能測量の支援者たたえ

2018.4.21 金(3F)
江戸時代に日本初の実測 孫とその家族など約1800
地図を作った伊能忠敬(1745~1818年)の活 動を支えた人たちの功績を 孫らに手渡した「写真。同 研究会は21日、東京都千代田 区(88)は「各地で測量に協力 した人々に関心を持って も たい」と述べた。



研究会が子孫に感謝状

伊能が率いる伊能隊は1800~16年、全国各地を 測量。幕府やその指令を受 けた諸藩や庶民らが測量作 業を補助したり、資を提供 したりした。同研究会は第 1~9次測量を記録した測 量日記を調査。記載されて いた北海道から九州までの 支援者延べ約1万2000 人の名前をデータベース化 した。2016年からイン ターネット上に名前を公開 し、新たな資料を発掘する ために協力を呼びかけてい た。【広瀬登、写真も】

三重県内を通る測線

海岸線と県北部
紀伊山地は未測



みえの歴史街道

(三重県環境生活部文化振興課による)



大図第117号(部分)

鳥羽出立後5月13日～6月
3日までの止宿状況

逢坂峠で宇治へ繋ぐ

上之郷村

横切測量

国府村
富士山測

リアス式海岸の測量

小さい入江の入りを測線が走る
(濃藍色の部分は湾入部)



尾鷲 土井家文書

測量事業に関する幕府(老中・勘定奉行など)による触れ(廻状)の写し、長嶋浦、田丸領槌柄浦など近隣諸村(組)との測量隊受入れまでの情報交換の書状など、測量隊、地元の動きが詳細にわかる貴重な記録。

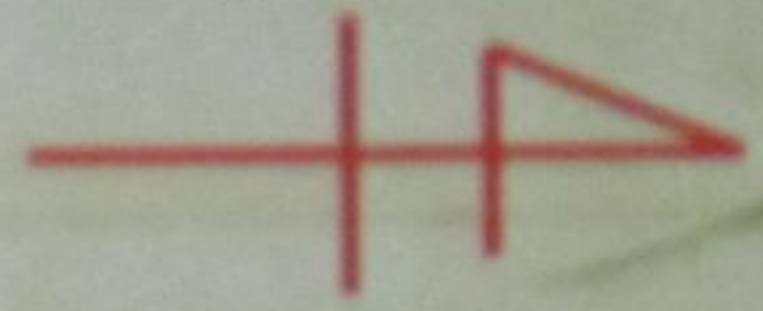


槌柄浦

尾鷲

「測量と申候八十間程の鎖を引、町数を…往還筋は往還を測量有之、海辺ハ浪打ヲ砂通ヲ測量…勘解由殿方一手は夜分も測量と申考も有之儀…」
 「御測量場所三間四方程之場所、芝ニてへり取候而中へハ砂ヲ入…」
 「御料理方一汁一菜と申候得共、焼物皿ハ何れも付候由…」
 「覚 明十九日未明三浦出立ニテニ相分レ、一手ハ当所より島勝浦迄、先一ト手ハ島勝浦よりニ夕股岬通り遠見ニ而、須賀利ニ而両手落合止宿…宿用意可有之候、荷物等の儀ハ船ニ而…」(泊触)

大図第132号(部分)



笹野渡、大波濤
に付略測して...

二木嶋浦

手分

- 早田浦より三木嶋を回て、盛松浦外より三木浦を測り、それより古江浦へ渡りて三木里浦まで測。...右海岸大海を請、巖石聳測量難成。船中にて方位略測。連測は早田浦より三木浦の山越にて極る。
- 早田浦より横切、山越を測、三木浦に出て、それより同所入込を測、また三木浦より三木里村を測て、両手合測。

6月25日九木浦逗留、夜ハツ(3時頃)後、同所灯明堂、富士、濛氣多く不見。6月26日曉ハツ半再び灯明台、海上雲掩て空しく。

九木浦

九木(鬼)崎



三重を測る—第8次測量—

中図 (NISSHA蔵)

第8次測量(九州 2次) 隊員:19名(忠敬:66~69歳)
文化8.11.25(1812.1.9)~文化11.5.23(1814.7.10) 914
日

往路:文化8年12月25日(1812.2.7)~12月27日(2.9)

復路:文化11年3月10日(1814.4.29)~3月24日(5.13)

本隊<大和街道>島ヶ原—上野—関—亀山—<順検使
街道菰野道(巡検道)>伊船村—東菰野村—宿野村
(四日市追分)—四日市

支隊<津町街道>上野—長野宿—足坂村—久居—津
四日市で本・支隊合流・再び大手分け

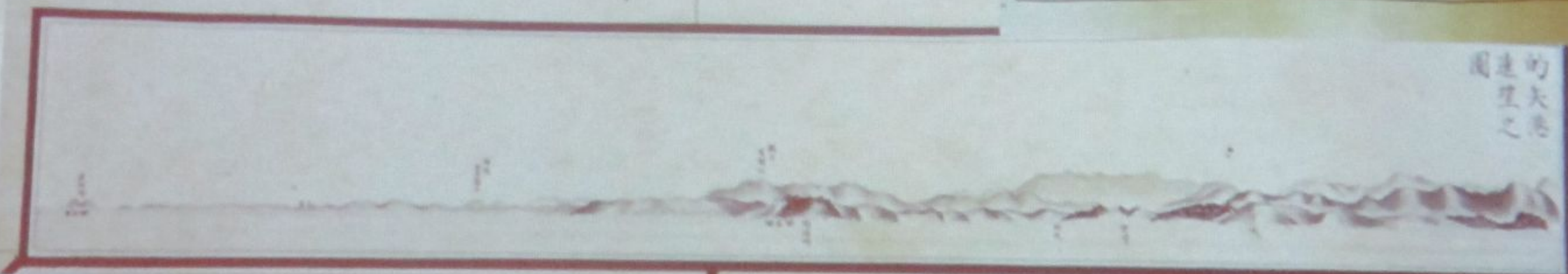
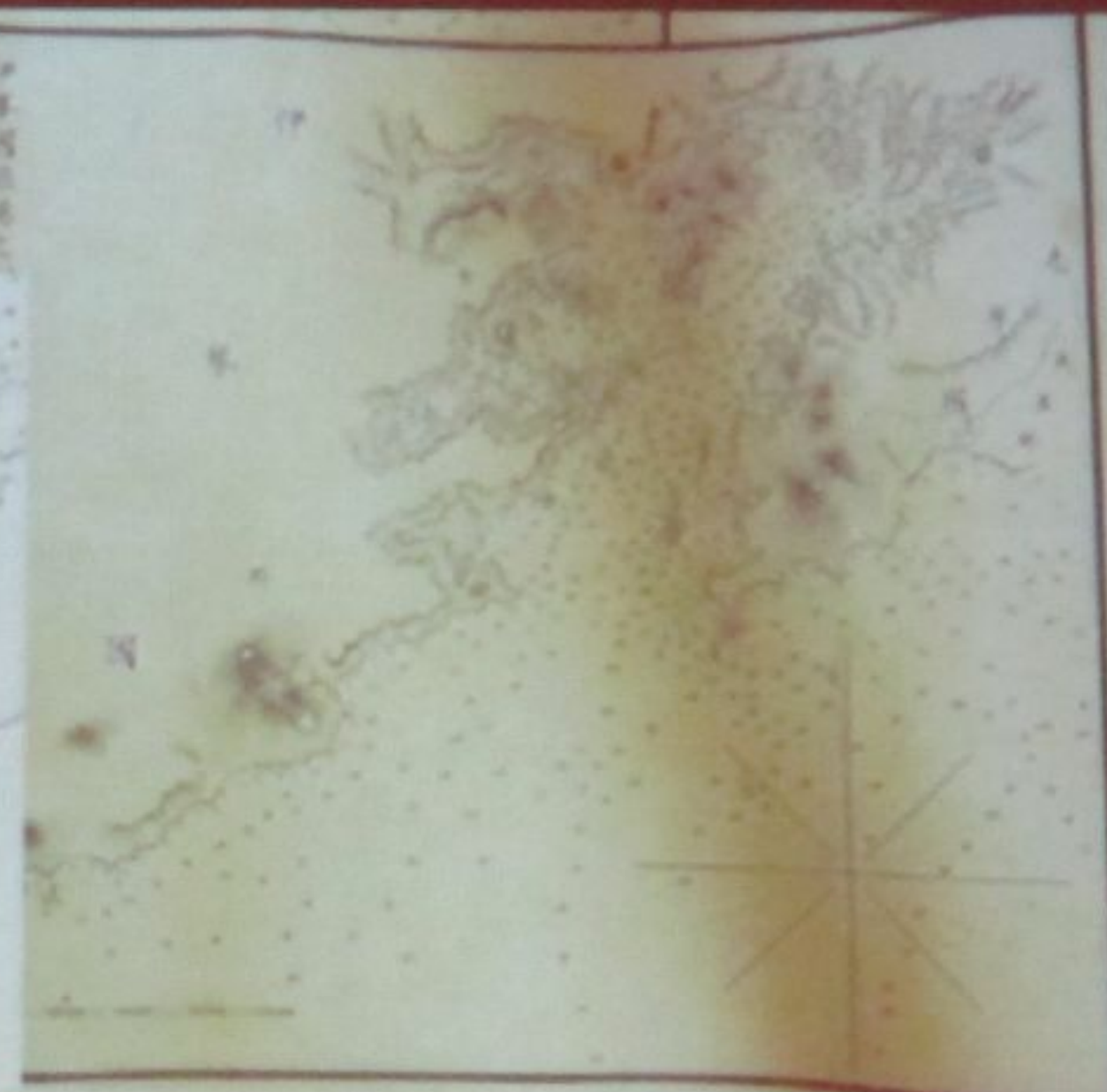
本隊 桑名城下測量—<高須道>香取村—(高須)

支隊 東菰野村<巡検道>—阿下喜村—山口村
—古川村

- 西国測量が終了、忠敬にとって最終の測量行程
- 屋久島、種子島、対馬、九州西北部、さらに中国地方
の内陸部など、長途の測量の帰途ながら、県北部の測
量網を確実に増強している



尾勢志海岸實測圖



的矢港
連望之
國

東京大学史料編纂所蔵



演壇

津藩の対応

- ・藩校有造館の創設

(文政3年・1820年)

- ・海防の強化

台場の築造(贅崎・西裏ほか)

大砲の製造

東

惣堀
貳十六拾坪
内
平堀
九百拾坪

贅崎砲臺
城內より
東南に在る

二層重櫓

新三門

西

北

贅崎砲台場図





惣堀
内
貳十六拾坪
平地
九百五拾坪

贅崎砲臺
城內より
南の方

北

贅崎砲台場図

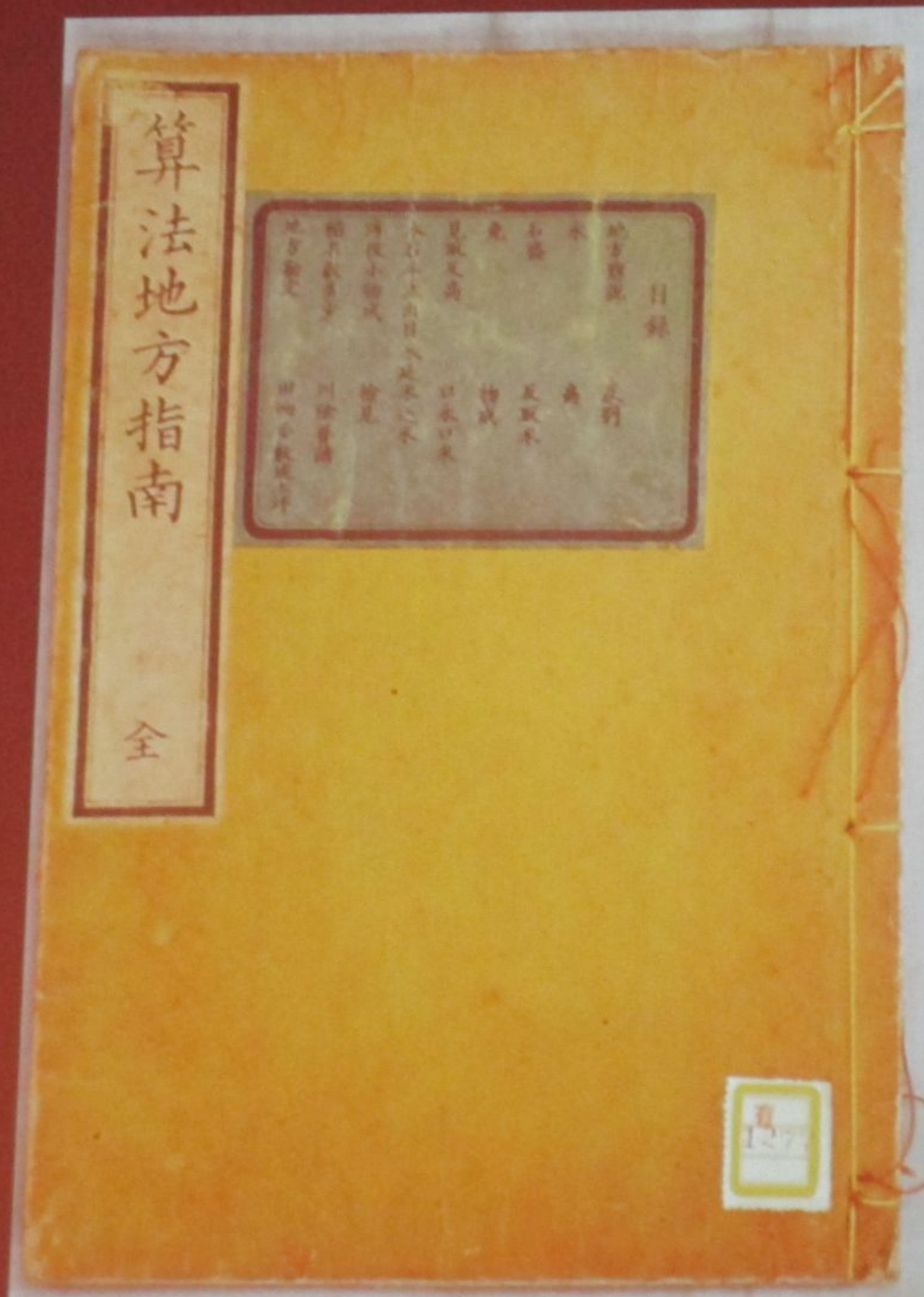
嘉永期津城下図(部分)



天保7年(1836)に村
田佐十郎恒光が著し
た、当時の農政指導
手引書

領地測量や年貢計算
等に関わる算術の解
説のほか、農業土木
工事の具体例を示す

(津図書館・有造館文庫)





嘉永四年辛亥集

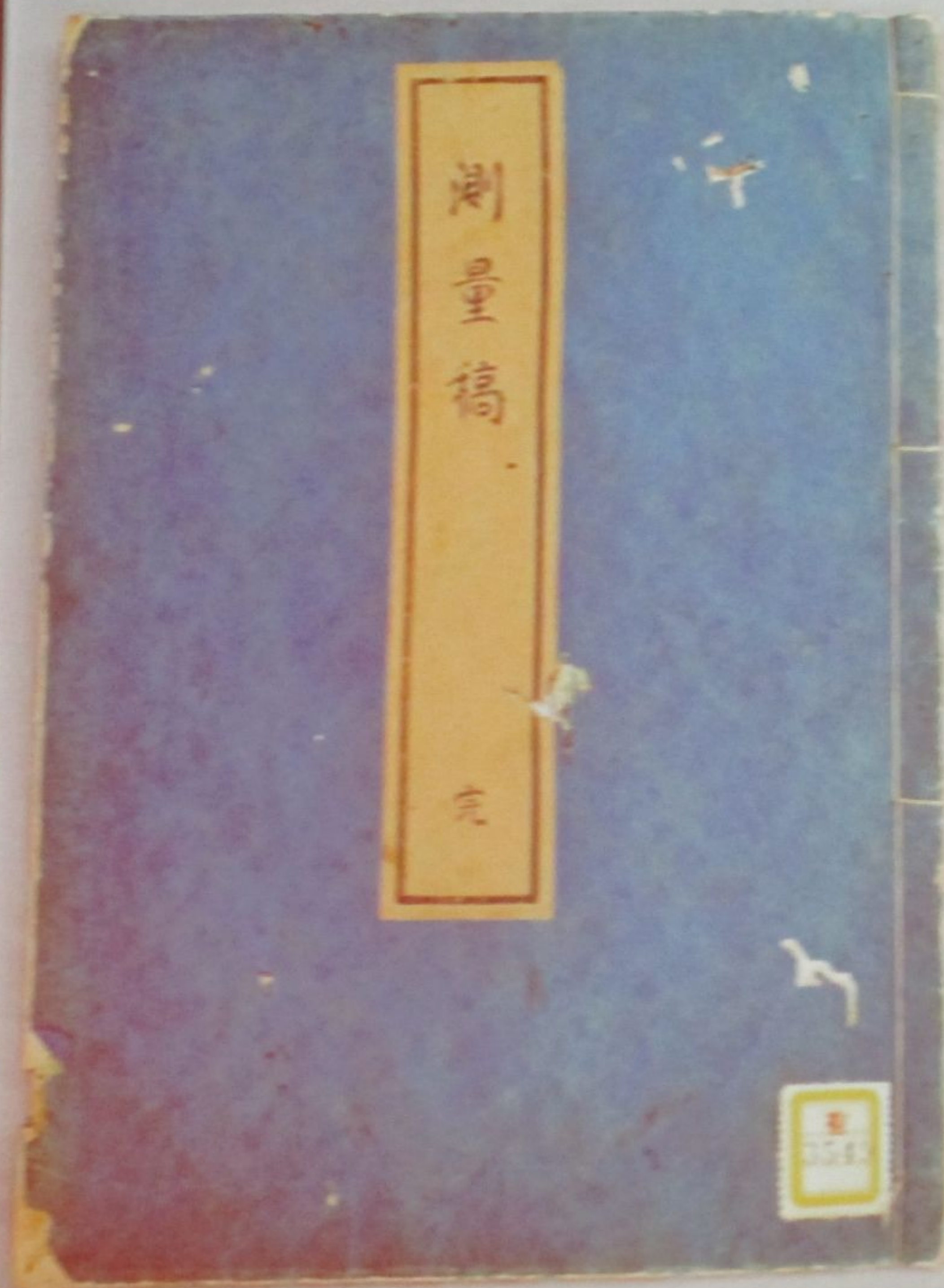
新巧算法三編

數學道場

新巧算法三編

嘉永4年(1851)
に櫛悦が編纂し
た算術の問題集

28問の幾何学
問題とその解答
を示す。

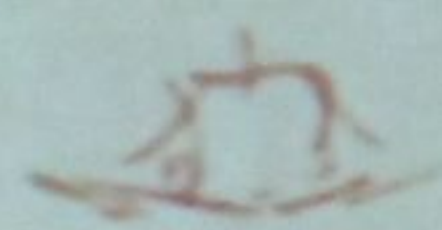


測量稿

嘉永6年(1853)
村田佐十郎が中
心となり行った
伊勢湾西岸沿い
の測量成果

(津図書館・有造館文庫)

三分二釐己五度五十分



釐 辰二十二度二十分

十一度三十分

地名都用首字下
尾字上畧之可見察

角九度十三分

六〇一六〇一六八三

十三分

五〇一〇八五七七

丁〇二釐

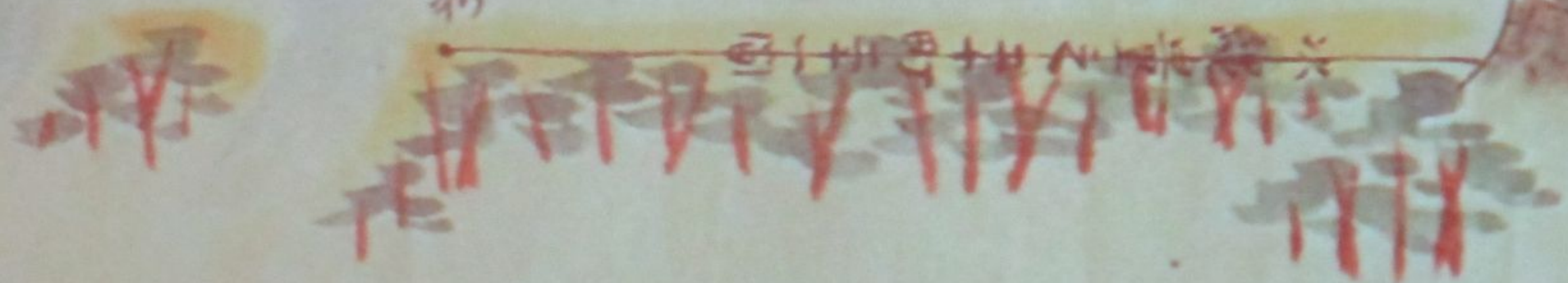
常夜燈
測
不



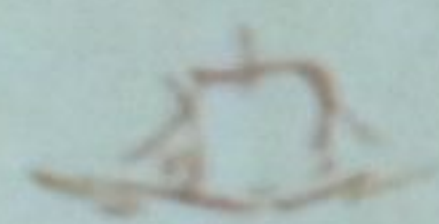
測
不

塔世川口

部田川口



三分二釐己九度五十分



釐 辰二十二度二十分

十一度二十分

地名都而用首字下
尾字上畧之可見察

角九度十三分

六〇一六〇一六八三

十三分

五〇一〇八五七七

町〇二釐

常夜燈

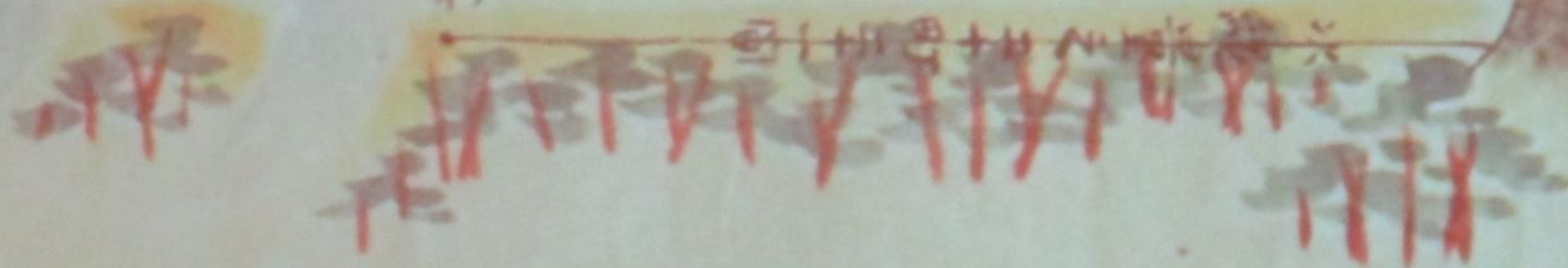
測



塔世川口

測

部田川口





現在の贅崎灯台

小石山

十里七町二重辰八度五分
十里十一町六分八重辰七度五十分

○神明嶺新測得

塔南十八度五分

正強二二〇三九九

塔南九度三十分

正強二六四一八六八

算得距離三十八町五分九厘

小石山

九里三九町六分五重辰四度五分

○伊倉津區龜井森測得

塔南二十一度五十分

正強二七二九八七八

塔南九度二分

正強二一五七〇九一

算得距離四十八町五分

小石山

九里三十七町四分六重辰二度十分

○伊倉津區測得

塔南二八度十分

正強二四二〇二八〇

塔南十一度二十八分

正強二一八七九七八

算得距離四十八町五分二厘

小石山

九里三十三町一分八重辰三十九度五十分

算得距離

小石山

十里三十三町二分即二十四度五分

○藤原區測得

塔南二八度二分

正強二〇七二七二八

算得距離四里三十一町五分二厘

三河大山

十四里三十二町一分十三度五分

○朝霞山頂測得

塔南五十一度二分

正強二七二七五二〇

算得距離九里九町八分五厘

十四里六町二分即十一度五分

○志門山頂測得

塔南六十五度五分

正強二八九六七四四

算得距離十里七町二分二厘

菅島

和具？

答志島

神島



尾門 後山

○ 寺名 妙法寺
尾門 尾門の北にあり、
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺

○ 寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺

寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺

尾門 前山

寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺

○ 寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺

寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺

尾門 前山

寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺

○ 寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺

寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺

信門 前山

寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺

○ 寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺

寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺
寺名 妙法寺

信和御歌

且西度三十三里三十三里

○三州山 測得塔南九十一度三十分 正弦 〇九九七一二五
山南二度十七分 正弦 〇〇五九八四一
算得距離十四里六町六分三重

○尾州復作南臺

測得塔南百〇〇度 正弦 〇九八四八〇七七
東中二度十七分 正弦 〇〇五九八四一
算得距離九里二町
九里十四里五町五分

○尾州須作山頂

測得塔南百〇二度五十分 正弦 〇九七四九五五
頂南三度四十分 正弦 〇〇六五一二九
算得距離八里十六町七分

○尾州野田山頂

測得塔南百〇八度〇五分 正弦 〇九八九六八八
頂南三度四十分 正弦 〇〇六五一二九
算得距離八里十四町五分

○尾州野田北臺

測得塔南百〇五度〇八分 正弦 〇九八八八四二
東中二度四十分 正弦 〇〇六八一五二
算得距離七里二十八町九分一重

○尾州常盤山

測得塔南百〇五度五十分 正弦 〇八八二二七一
山南二度四十分 正弦 〇〇六八一五二
算得距離九里十四町八分二重

三子山

測得塔南百〇五度五十分 正弦 〇八八二二七一
山南二度四十分 正弦 〇〇六八一五二
算得距離九里十四町八分二重

上野
本城山

箕田



經峯

長谷山塚

布引

三里

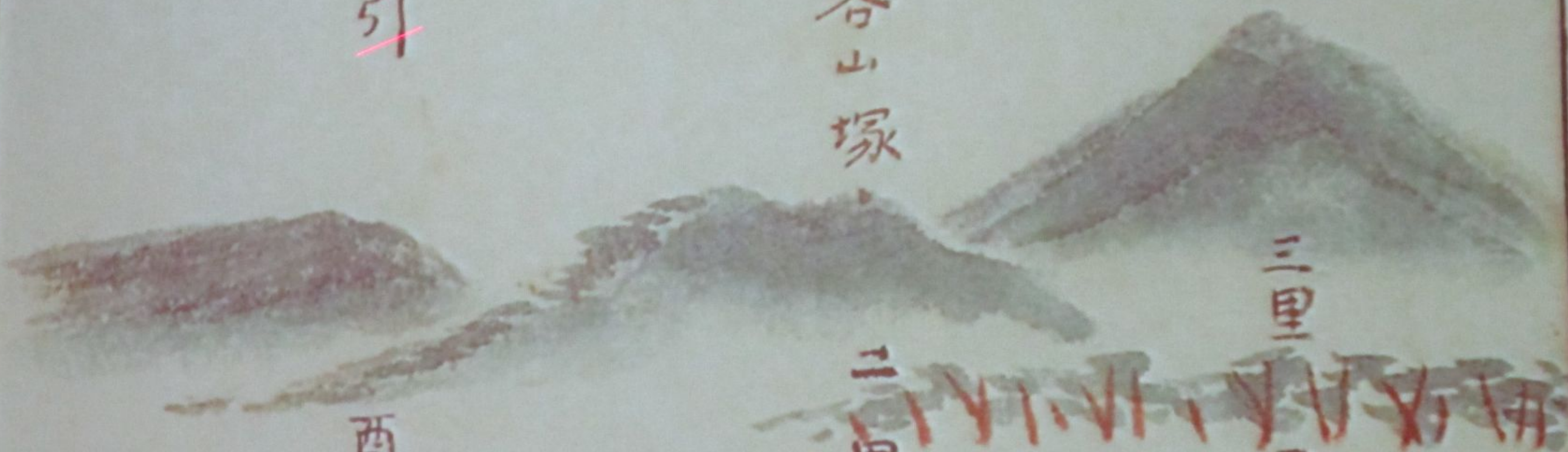
二十八所。西二

○梅白

二里九所一分西二

○箕田

西十度二十分四



経ヶ峰

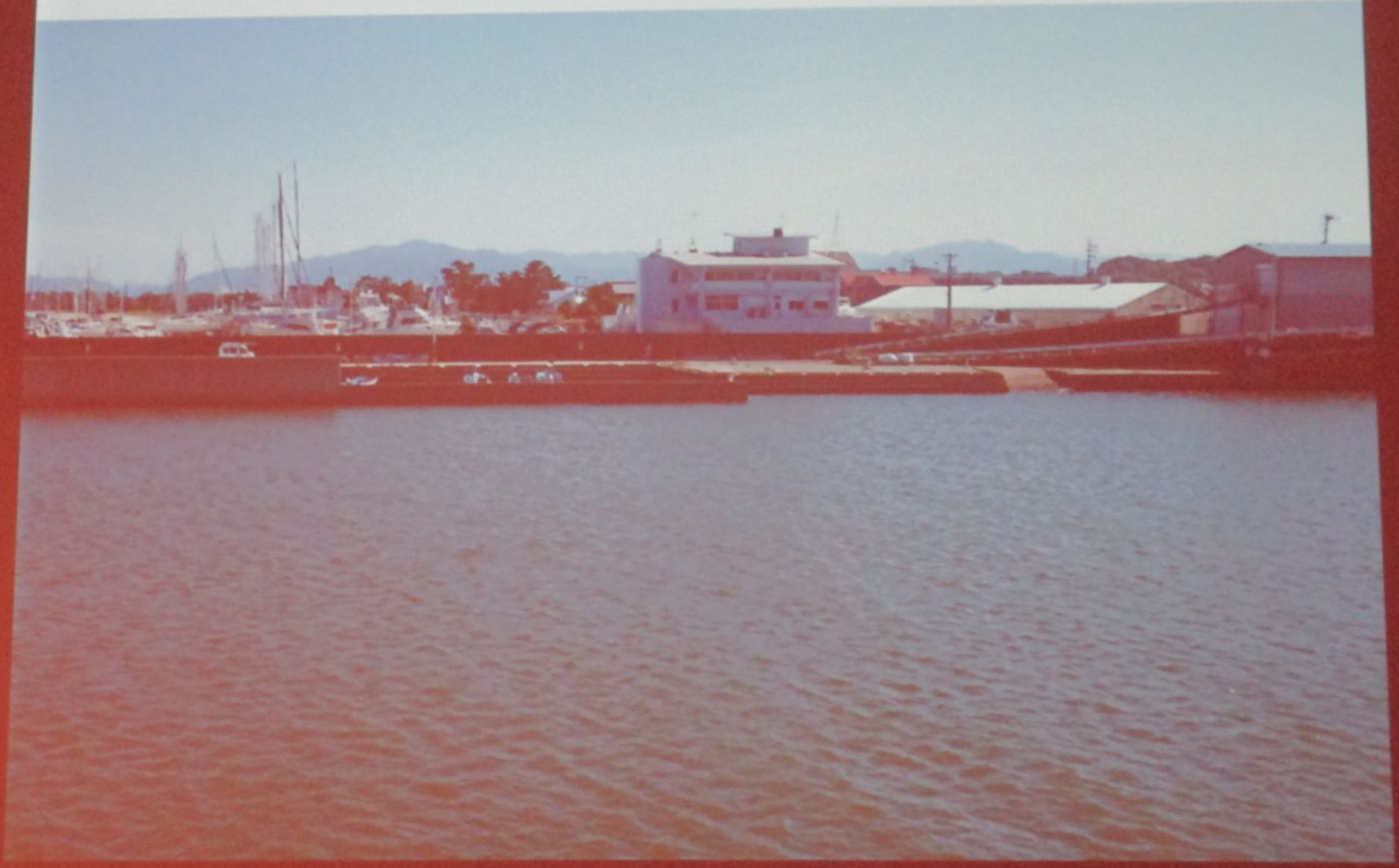
長谷山

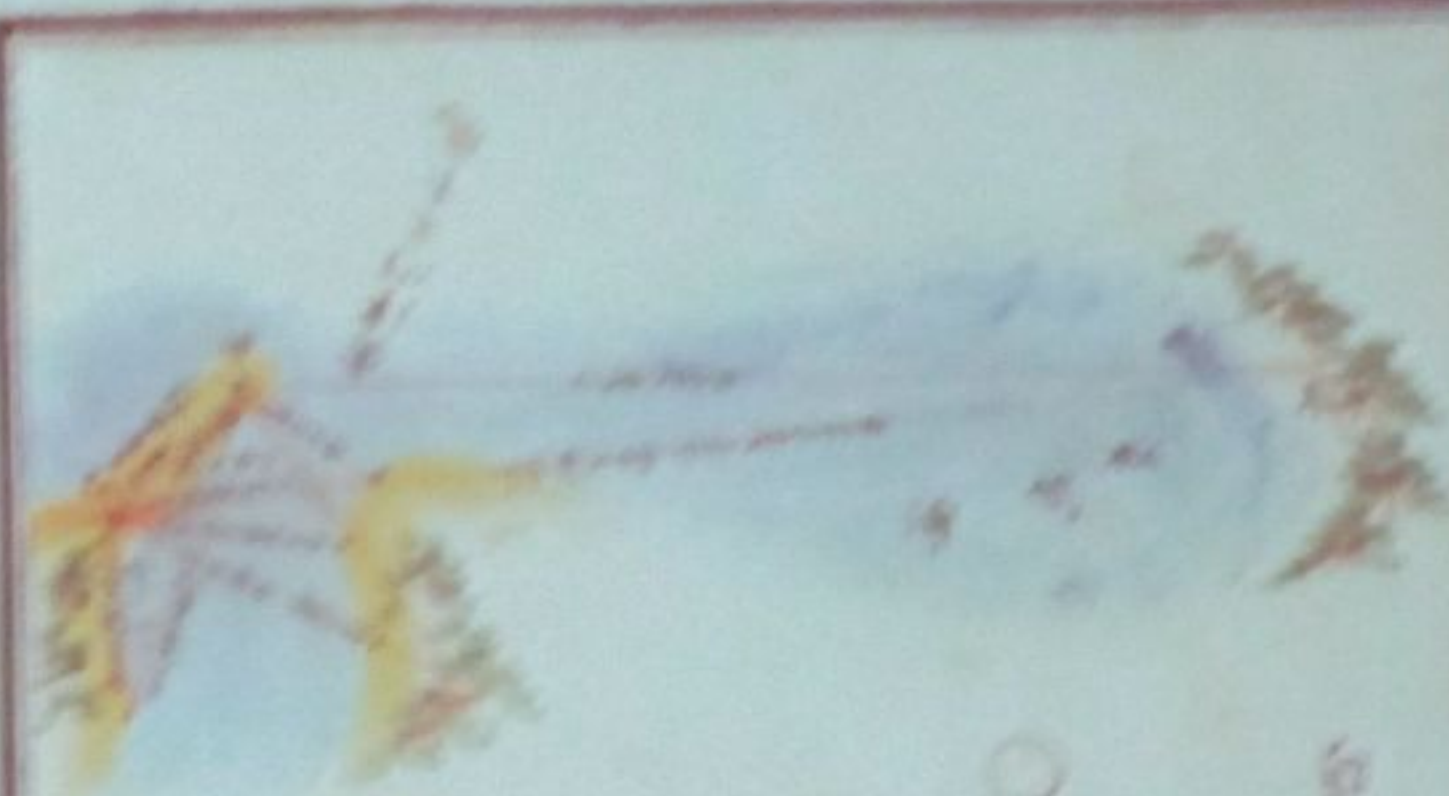
布引山地



堀坂山

白米





以錫帶之，其法甚妙。

○ 有金門南門二碑其石刻不存明仁福及門前

謝子伯玉

卷之五

軍機處

文久改正
伊勢國細見之圖

文久元年(1861)に
村田佐十郎が作成し
た伊勢国の絵図



文久
改正

伊勢國細見之圖

大正
伊勢







志州	三州	尾州	同国	岩田川
鳥羽十二里半 辰三分	神島十一里半 卯八分	吉田二十三里 寅八分	伊良古十三里 卯八分	篠島十一里半 卯三分
		師崎十一里 卯二分	野間八里 寅八分	常滑九里半 寅三分
			大野十里 寅一分	熱田十七里 丑正
				桑名十里 子七分
				四日市八里 子六分
				人湊八里 辰五分
				海路里程



藩海實測稿

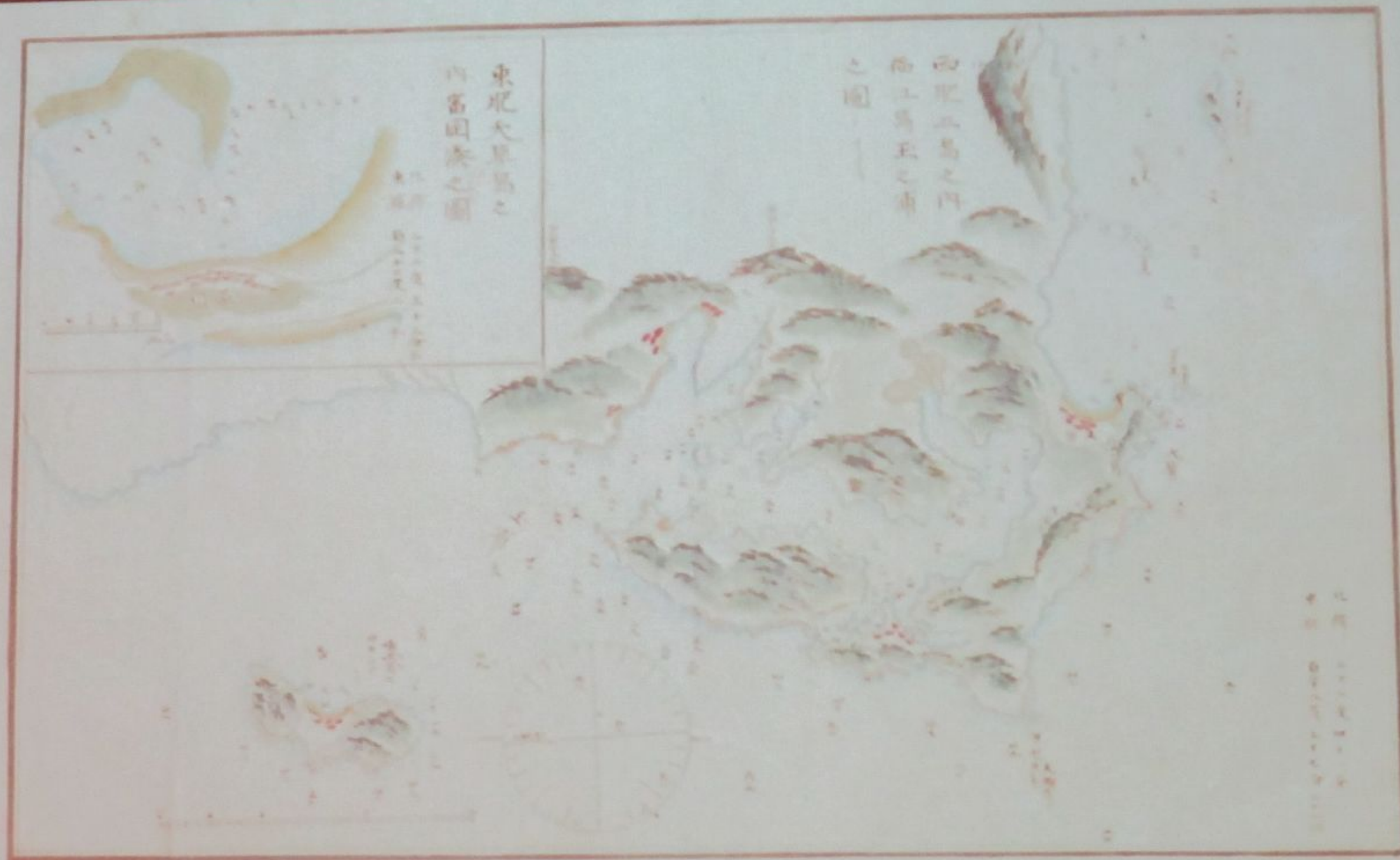
文久2年(1862)
に行った津藩の
領海沿岸の測量
成果簿。

(海上保安庁海洋情報部
所蔵)

藩海實測稿

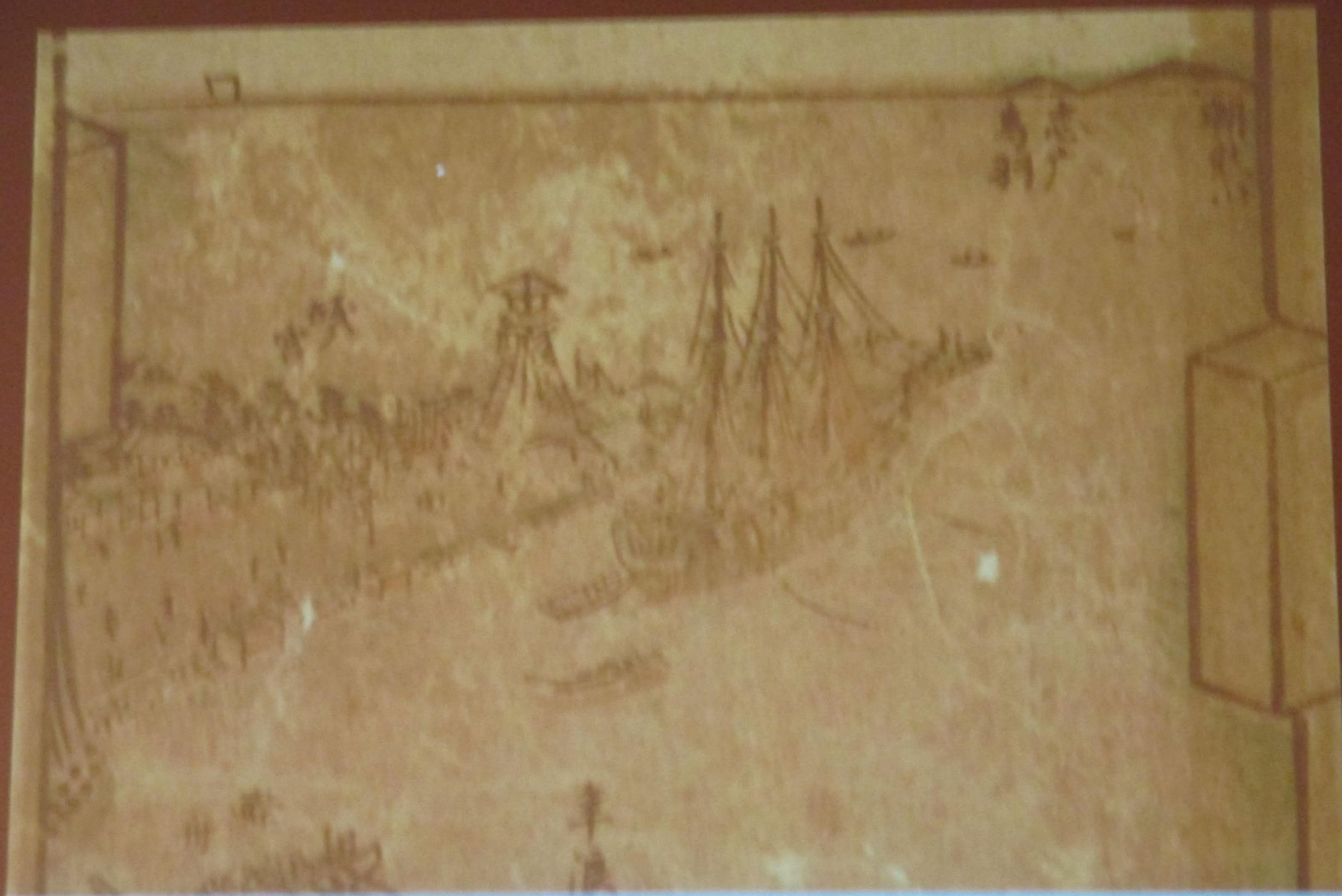
文久二年戊辰正月廿五日

孫理本



西肥五島之内福江島玉之浦之圖

(海上保安庁海洋情報部蔵)



賛崎近くに繋留された神風丸(個人蔵・部分)

陸國石之
中全港圖

陸中國釜石港之圖
(海上保安庁海洋情報部所蔵)

(海上保安庁海洋情報部所蔵)

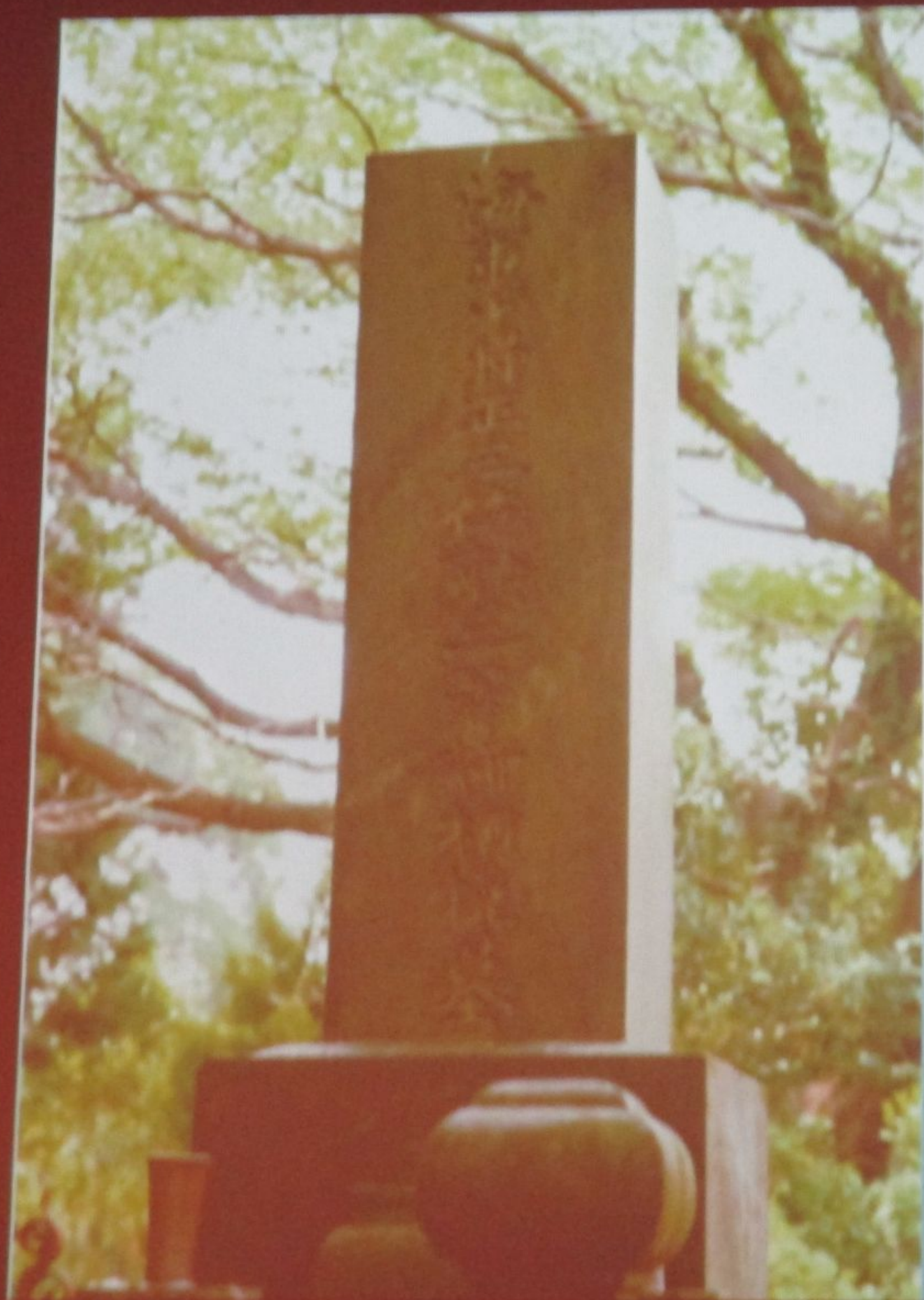
KANAI-SHI BAY



現在の海図「釜石港」

柳楫悅墓碑

東京・青山靈園





演壇